



ヨコハマトリエナーレ 2014

ヨコハマトリエナーレ 2014 プレスリリース

2014 年 7 月 10 日

ヨコハマトリエナーレ 2014 期間中に開催されるパブリック・プログラム

第一弾 アーティスト・プロジェクト 発表

「ヨコハマトリエナーレ 2014」(会期:2014 年 8 月 1 日(金)~11 月 3 日(月・祝)／主会場:横浜美術館・新港ピア)は、美術家森村泰昌をアーティストック・ディレクターに迎え、「華氏 451 の芸術:世界の中心には忘却の海がある」というタイトルのもと、19 の国と地域から 65 組(団体)のアーティストの作品を展示します。

このたび展覧会に合わせて開催されるパブリック・プログラムのうち、アーティストによるプロジェクトや各種イベントを発表いたします。本展のタイトル「華氏 451 の芸術:世界の中心には忘却の海がある」の世界を体験いただけるレクチャーや上映プログラムなど、多様なプログラムを開催します。ぜひご参加ください。

ラインナップ

◆マイケル・ランディ《アート・ビン》参加者募集

◆Temporary Foundation「横浜トライアル」

◆釜ヶ崎芸術大学 in ヨコトリ

◆トヨダヒトシ「映像日記/スライドショー」

その他アーティスト・トーク、映像プログラム、ワークショップなど予定

申込方法はヨコハマトリエナーレ 2014
公式ウェブサイトまで

www.yokohamatriennale.jp

* 「事前申込制」の記載がない場合は、原則事前申込不要(当日先着順)、参加は無料です。ただし、展示室入場のために ヨコハマトリエナーレ 2014 のチケットが必要な場合があります。

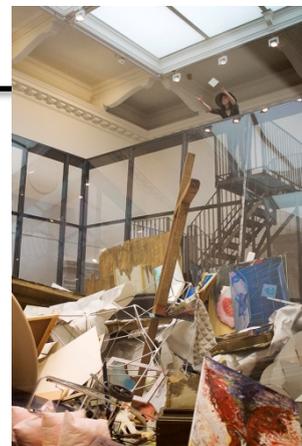
美術のためのゴミ箱《アート・ビン》に、あなたの作品を捨ててみませんか？

マイケル・ランディ《アート・ビン》 = 参加者募集 =

序章 世界の中心にはなにがある？

イギリスの作家マイケル・ランディの《アート・ビン》が、高さ 7 メートル、幅 8.6 メートルの大スケールで、横浜美術館のグランドギャラリーに登場します。本作品は、様々な人が自分の失敗作、未発表のまま倉庫にしまわれたままの作品、捨ててもよい作品など、ここに投げ入れることで創造的失敗のためのモニュメントを作り上げる、参加型のプロジェクトです。

このたび、《アート・ビン》に作品を投げ入れる参加者を募集します。「失敗」と「廃棄」という忘れられた美術史の中にこそ、新たな「創造」がある。その記念碑となる本作品、美術のためのゴミ箱《アート・ビン》に、ぜひご参加ください。



《アート・ビン》2010
サウス・ロンドン・ギャラリーでの展示風景

実施概要

日 時 : 随時申込受付(参加希望の 10 日前までに申込を済ませてください)

会 場 : 横浜美術館 グランドギャラリー

参加方法 : 作品の持込みは、公式ウェブサイトの《アート・ビン》専用ページ
<http://www.yokohamatriennale.jp/2014/artbin> よりお申し込みください。

参加資格 : 満 15 歳以上 *ただし未成年の場合は、「親権者同意書」の提出が必要です。

* その他参加可能な作品、参加に際しての条件等については公式ウェブサイトをご参照ください。



「赤い法廷」を舞台に行われるアートな裁判
Temporary Foundation「横浜トライアル」
 第5話 非人称の漂流～ Still Moving

《法と星座・Turn Coat / Turn court》の「赤い法廷」を舞台に開催される5回シリーズのイベント。演劇でも、講義でも、パフォーマンスでもない、「その他の新しい裁判事件」という意味で、この催しには、「CASE＝裁判事件」という名称がついています。

「日本国憲法」をDJやラッパーが演奏するなか、各回異なる“事件”の審議が執り行われます。



《法と星座・Turn Coat / Turn Court》(完成予想図) 2014
 © satoru takahashi

実施概要

タイトル：**Case-1「非人称の光」**

日時：8月6日(水) 15:00-17:00

出演：建畠哲(京都市立芸術大学学長)、
 加治屋健司(京都市立芸術大学芸術資源研究センター准教授)

共催：京都市立芸術大学芸術資源研究センター

Case by Case「日本国憲法をラップするby Shing02」

8月15日(金) 15:00-15:30/16:00-16:30/17:00-17:30

出演：Turntable(DJ)by KURANAKA 1945

Case-2「自由意志は存在するか」

9月11日(木) 15:00-17:00

出演：下條信輔(カリフォルニア工科大学心理学教授)

会場：赤い法廷(横浜美術館 Temporary Foundation 展示室内)(Case-1 & 2 は定員：各回 20 名)

進行：高橋悟(京都市立芸術大学教授)

備考：展示室入場のため観覧券チケットが必要です

*その他10月は2回開催を予定しております。詳細については公式ウェブサイトをご参照ください。

釜ヶ崎芸術大学による特別講座開催

釜ヶ崎芸術大学 in ヨコトリ

第2話 漂流する教室にであう

大阪の釜ヶ崎地域を拠点に、生きるための学び合いの場を展開する釜ヶ崎芸術大学の講座を、9月と10月に3講座開講します。

9月の講座開催時には、釜ヶ崎の現役炊出番長が炊出しを実践するTAKIDASHI カフェを同時開催します。



狂言公演の様子

実施概要

講座①「芸術と生きる」

内容 釜芸の人気講座でもある西川勝(臨床哲学者・看護師)による哲学講座体験や現役釜芸大生による狂言の公演など同大学らしい取り組みを紹介します。

日時：9月20日(土) 13:30-17:00

会場：横浜美術館 円形フォーラム

**講座②「ことばと生きる」**

内 容：詩人の上田假奈代が開校する1日限りの学校。ユニークなアプローチを取り入れた「ことば」を書く、聞く、読む授業が行われます。

日 時：9月21日[日] 10:30-14:30

会 場：横浜美術館 円形フォーラム

対象・定員：小学校高学年・15名

申込方法：事前申込制・先着順

同時開催：「TAKIDASHI カフェ」日時：9月20日、21日 両日 12:00-13:30

会場：グランモール公園(横浜美術館前)

* その他10月に天文学の講師を迎えて3回目の講座を予定しております。詳細については公式ウェブサイトをご参照ください。

瞬間を記憶に刻む 作品との一期一会**トヨダヒトシ「映像日記／スライドショー」****第8話 漂流を招き入れる旅、漂流を映しこむ海**

写真家トヨダヒトシは、プリントでも写真集でもなく、スライドショーだけで作品を発表しています。会期中、初期からの作品を横浜市内の様々な場所で上映します。まるで贈り物のように「写されては消え行くイメージ」を記憶に刻む、その場限りの作品との出会いとなります。



東京都現代美術館での上映風景 2007

実施概要**《NAZUNA》(2004-2014年)**

日 時：8月9日(土) 19:00-20:40

会 場：新港ピア屋外(雨天の場合:横浜美術館 レクチャーホール)(定員:80名)

《spoonfulriver(ひと匙の河)》(2007-2014年)

日 時：8月15日(金) 19:00-20:20

会 場：横浜市イギリス館(旧英国総領事公邸)(事前申込制、定員:30名)

《An Elephant's Tail —ゾウノシッポ》(1999-2014年)

日 時：9月13日(土) 19:00-20:30

会 場：横浜美術館前(雨天の場合:横浜美術館 レクチャーホール)(定員:60名)

備 考：トヨダヒトシによるポストトークを行います。

《黒い月》(2010-2014年)

日 時：9月22日(月) 19:00-20:10

会 場：ランドマークホール(ランドマークプラザ 5F)(定員:220名)

協 力：ランドマークホール



《11211》(2000-2014 年)

日 時 : 9 月 27 日(土) 19:00-19:40

会 場 : 象の鼻テラス(定員:100 名)

共 催 : 象の鼻テラス * 終演後「スナックゾウノハナ」が開催されます。

* 作品はいずれも 35 mmスライド・フィルム、サイレントです(日英バイリンガル)。

* 各会場の開場時間はプログラム開始の 30 分前です。

* その他 10 月にも公演を予定しております。詳細については公式ウェブサイトをご参照ください。

ヨコハマトリエンナーレ 2014 開催概要

正 式 名 称	ヨコハマトリエンナーレ 2014 「華氏 451 の芸術:世界の中心には忘却の海がある」 Yokohama Triennale 2014 “ART Fahrenheit 451: Sailing into the sea of oblivion”
アーティスティック・ ディレクター	森村泰昌
会 期	2014 年 8 月 1 日(金)~11 月 3 日(月・祝) 開場日数:89 日間 休場日:第 1・3 木曜日(8/7、8/21、9/4、9/18、10/2、10/16)
主 会 場	横浜美術館 横浜市西区みなとみらい 3-4-1 新港ピア(新港ふ頭展示施設) 横浜市中区新港 2-5
開 場 時 間	10:00 ~ 18:00 [月 1 回土曜日(8/9、9/13、10/11、11/1)は 20:00 まで開場] ※入場は閉場の 30 分前まで
主 催	横浜市、(公財)横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、 横浜トリエンナーレ組織委員会
お 問 い 合 せ 先	横浜トリエンナーレ組織委員会 TEL 045-663-7232

※事業の総称および組織名は「横浜トリエンナーレ」(横浜=漢字表記)、第 5 回展の事業名は「ヨコハマトリエンナーレ 2014」(ヨコハマ=カタカナ表記)となります。